第１５回警察ネット市民集会

公益通報を揉み消し、公益通報者を排除する

公安警察に正義はあるか？

公安警察が絡んだ時、公益通報制度は機能するのかを考える企画。今年で３回目。

広島県警では、不正を行った警備課警察官が処罰覚悟で公安警察の旅費・日当の不正経理の内部告発をしたが、広島県警に揉み消された。

鹿児島県警は強制捜査で手に入れた公益通報文書の一部（捜査関係文書）が秘密漏えいだとして、公安系警察官僚の本部長の指示で通報者の元生活安全部長宅の捜索、逮捕、鹿児島地検に起訴させたものの、公判はまだ始まらない。

第一回公判直前に起訴が取り下げられた大川原化工機捏罪事件では、捜査中に警視庁内で重大な公益通報潰しがあった。取材した記者が警視庁公安の実情を語る。

主　催：明るい警察を実現する全国ネットワーク
日　時：２０２６年１２月１２日（土）１３：３０～１６：３０
場　所：ＴＫＰスター会議室 四谷（都内 JR 四ツ谷駅四谷口・徒歩２分）
　　新宿区四谷 1-8-6 ホリナカビル 3 階（新宿通り）
参加費：１，０００円
内　容：
Ⅰ　事件報告
　警察署留置場のごはんの大問題Ⅱ／千葉県警
　警備課旅費・日当ネコババ事件Ⅱ／広島県警
　県警本部長犯罪もみ消し事件Ⅱ／鹿児島県警
Ⅱ　講演
　大川原化工機事件と公益通報　遠藤浩二氏（毎日新聞記者）
Ⅲ　鼎談～公益通報者を排除する警察の正義
　遠藤浩二氏　　粟根康智氏（元警察官）　　清水勉弁護士

【問い合わせ先】
明るい警察を実現する全国ネットワーク事務局
弁護士　清水　勉、同　出口かおり
TEL 03(3353)3399